

チラー冷却水の見えない菌に 光で備える

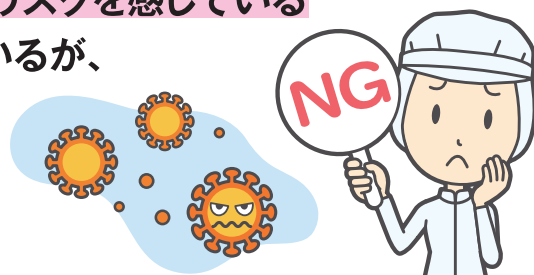
液交換時に冷却水を下水に流せる! ※1 ※2

※1 地域の下水排除基準を必ずご確認ください。

※2 原液では下水に流さないでください。原液を廃棄する場合は、当社へお問合せください。

こんな困りごとありませんか？

- うちの商品は大腸菌の付着はNGなのだが、
使用しているチラー冷却水に菌が繁殖しやすく常にリスクを感じている
- 菌を発生させないように、頻繁に冷却水を交換しているが、
交換の手間が辛い
- 冷却水を交換しても
菌がいなくなっているのか分からない
- レジオネラ菌の発生リスクについても対策したい



そのお悩み、VITA LUMINE CHILLERがお手伝いします!

光触媒添加剤



維持管理サービス

光触媒添加剤の詳細

特徴

光のチカラで
菌の増殖を抑制

添加剤は
食品成分100%で構成

流れ

お打ち合わせにて(*1)、ご使用中の冷却水に最適な、添加剤量をご提案
→お届けした商品を全量タンクに添加ください

(*1) 効力不足により菌数が減少傾向に無い場合は当社より光源をお貸し致します。

ユシロ
独自の
特許技術を
採用



特許第6950067号

維持管理サービスの詳細

当社 → ユーザー様

検体採取用ボトルと
光触媒添加剤を送付。

ユーザー様

対象のタンクに
光触媒添加剤を
全量添加して頂く。

ユーザー様 → 当社

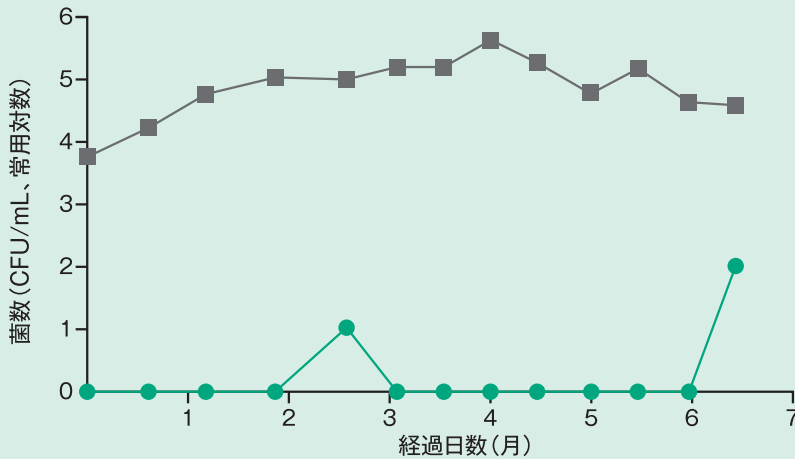
添加直後を目安に
冷却水をボトルに採取頂き、
当社に送付頂く。

当社 → ユーザー様

後日、液状態の分析結果と
推奨の液交換時期を報告。

※検体の送付および分析の頻度は添加日から3ヶ月毎となります。※おおよその液交換頻度(光触媒効果の持続力)は6ヶ月毎となります。

実証データ 実際のチラーを用いた静菌持続性試験結果



● 光触媒添加剤

■ 水道水

試験方法

実際に使用しているチラーに
光触媒添加剤を加え、6ヶ月間循環使用する。
当社研究所にて菌数を確認

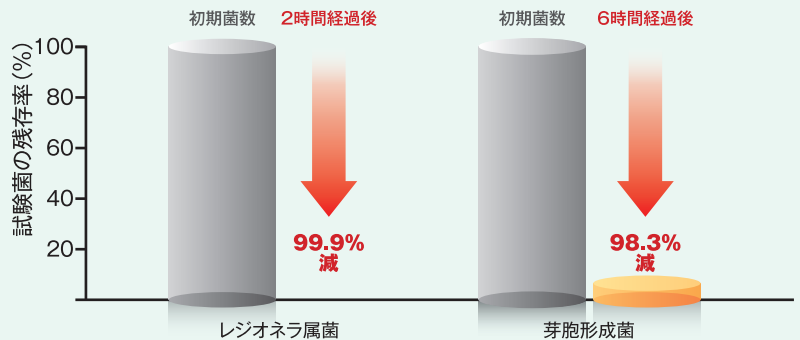
**6ヶ月間
菌の増殖抑制効果を確認**

エビデンスデータ 殺菌性試験結果

レジオネラ菌と芽胞形成菌 (試験機関: バイオメディカルサイエンス研究会)

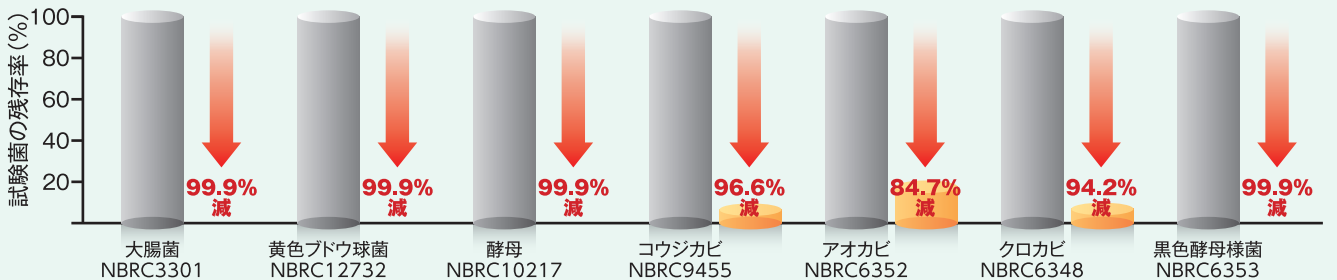
試験条件 白色LED光、750lx

使用菌株
レジオネラ属菌
Legionella qingyii NBRC113223
枯草菌芽胞懸濁液
Bacillus subtilis



その他の菌種 (社内データ)

試験条件 白色LED光、500lx



分析項目 下水排除基準項目 BOD、重金属の含有量、pHなど 性能項目 光触媒濃度、生菌数など

維持管理サービスにて上記の分析項目を報告。

下水排除基準を超過していないこと

菌が発生していないこと

を確認することができます。



ビタミン系光触媒
イメージキャラクター
「びきゃみん」

